

令和2年12月25日

学生各位

学 長

冬期休暇明けの新型コロナウイルス感染に関しての注意

標記の事について、令和2年12月14日付にて学生の皆さんに冬期休暇中の帰省等について注意を喚起したところですが、帰省及び旅行先から戻った後は、自分は感染しているかもしれないと自覚し、以下の感染予防対策を厳守のうえ、引き続き気を緩めることなく過ごしてください。

- マスクの着用、手洗い・アルコール手指消毒を必ず行う。
(マスクは、ガーゼマスクや布マスクではなく、サージカルマスク・不織布マスクが望ましい)
- 狭い空間や換気の悪い閉鎖空間で、長時間にわたり複数人と滞在しない。
(例えば、研究室などの狭い空間への出入りは必要最低限にする。)
- 同じ場所に長時間滞在する必要がある場合は、定期的に入口のドアや窓を開放して換気を行うとともに、換気設備が設置してある場合は適切に使用をすること。
- 健康観察表に基づき、毎体温の測定と自覚症状の有無を記録し、体調管理を行う。併せて、行動歴の記録を行うこと。(記録を行うことは、万が一感染した場合、感染拡大のリスクを最小限に抑えることに繋がります。)
- 帰省から戻った後の2週間は、必要最低限以外の外出は避け、他人との密な接触は避ける。
- 発熱やせき等の風邪症状が発生した場合は、自発的に大学には登校せず、自宅待機し、保健室に連絡する。

冬期休暇明けには後期の定期試験も控えています。生活リズムを整え、万全の体調で授業および定期試験に臨めるよう、慎重に行動してください。

以 上